

北方謙三

北方謙三ワールドを語る

2020年 2月6日 (木)

19時～20時30分 (18時30分開場)

会 場 日比谷図書文化館

地下1階 日比谷コンベンションホール (大ホール)

定 員 200名 (事前申込順。定員に達し次第締切)

参加費 1000円



北方謙三氏といえば、『チンギス紀』『水滸伝』『楊令伝』『岳飛伝』『三国志』でおなじみの歴史小説家とお思いの方が多いことでしょうが、氏は1970年純文学『明るい街へ』で学生小説家としてスタート。その後ハードボイルド小説の旗手として長く活躍され、現在に至っています。そして、現在は直木賞選考委員も務めておられます。

今回は氏の来た道、広大な北方謙三ワールドについてお話しいたします。

北方謙三 (小説家)

1947年唐津市生まれ。中央大学法学部卒業。81年『甲鐘はるかなり』でデビュー。83年『眠りなき夜』で第4回吉川英治文学新人賞を、85年『渇きの街』で第38回日本推理作家協会賞長編部門を、91年『破軍の星』で第4回柴田錬三郎賞を受賞。また、2004年『楊家将』で第38回吉川英治文学賞を、06年『水滸伝』(全19巻)で第9回司馬遼太郎賞を受賞。13年紫綬褒章を受章。16年『水滸伝』『楊令伝』『岳飛伝』全51巻の「大水滸伝」シリーズで第64回菊池寛賞を受賞。2000年から直木賞選考委員。現在、「小説すばる」にて『チンギス紀』を連載中。

お申込み

①ホームページの申込みフォーム

②お電話 (03-3502-3340)

③ご来館 (1階受付)

いずれかにて参加希望の講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。

小学生以下のお子様に参加される場合、保護者の同伴が必要です(同伴者の方にも参加費が必要です)

千代田区日比谷公園1-4 (日比谷公園内)
<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

都営地下鉄 ●三田線「内幸町駅」
 A7出口/徒歩3分

東京メトロ ●丸ノ内線 ●日比谷線「霞ヶ関駅」
 B2出口/徒歩3分

東京メトロ ●千代田線「霞ヶ関駅」
 C4出口/徒歩3分

JR「新橋駅」
 日比谷口(SL広場)/徒歩10分

